

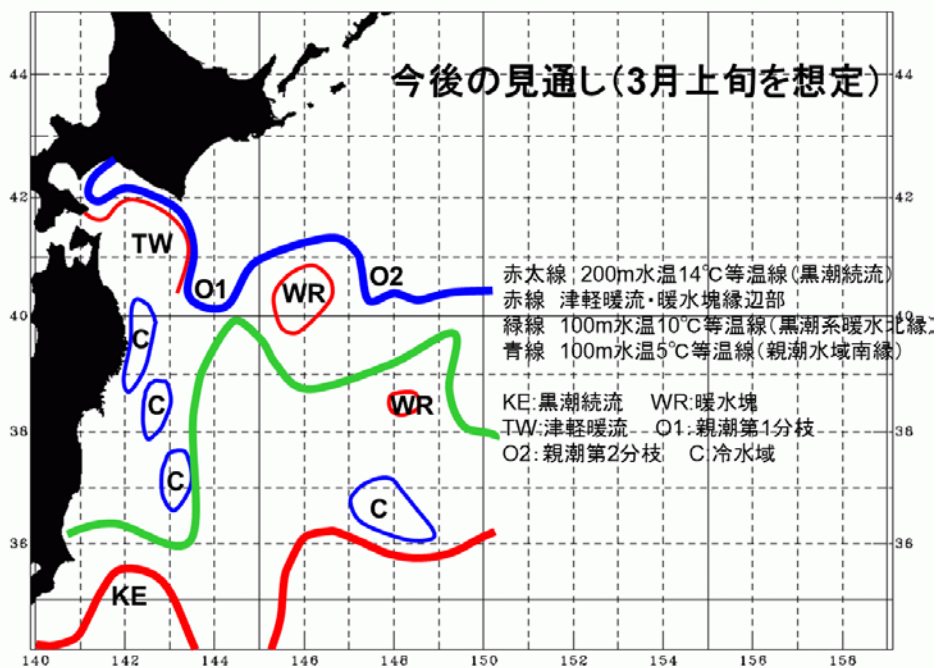


平成27年度 第5回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成28年2月下旬～3月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや南偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや北偏で推移する。
- ・ 釧路沖と三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。
- ・ 三陸～常磐近海に冷水域が形成される。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産総合研究センター北海道区水産研究所 業務推進部

担当：塚本、大迫

電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342

国立研究開発法人水産総合研究センター東北区水産研究所 業務推進部

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成27年度東北海区海況予報 第5号

《今後の見通し（2016年2月下旬～3月）》

近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや北偏で推移する。釧路沖と三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。三陸～常磐近海に冷水域が形成される

《海況の経過（2015年12月～2016年1月）の特徴》

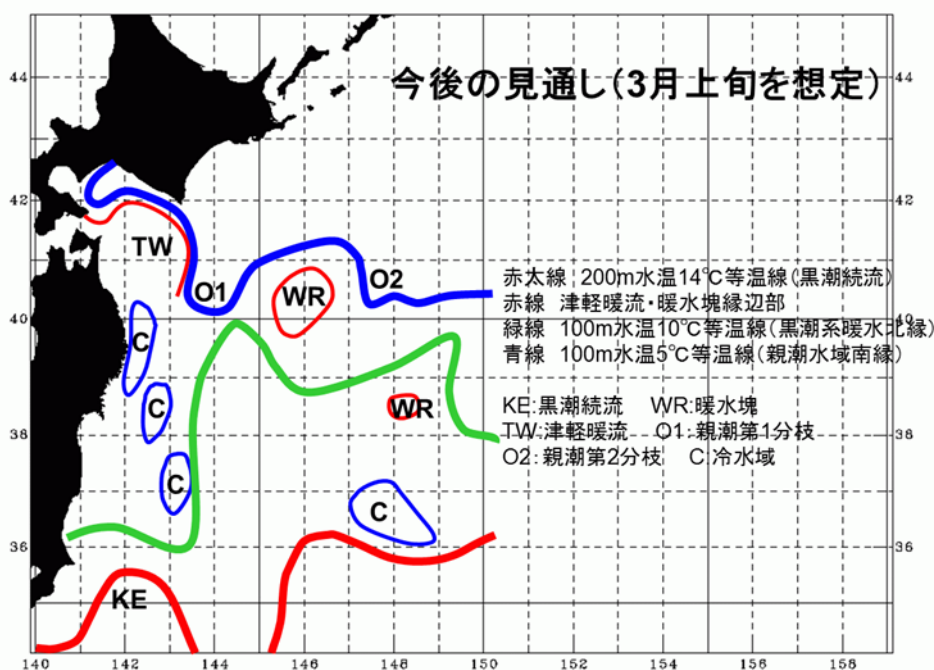
近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや北偏～極めて北偏で推移した。釧路沖と三陸はるか沖の暖水塊は停滞した。三陸沖の暖水塊は1月まで停滞したのち消滅した。

《現況（2016年2月上旬）の特徴》

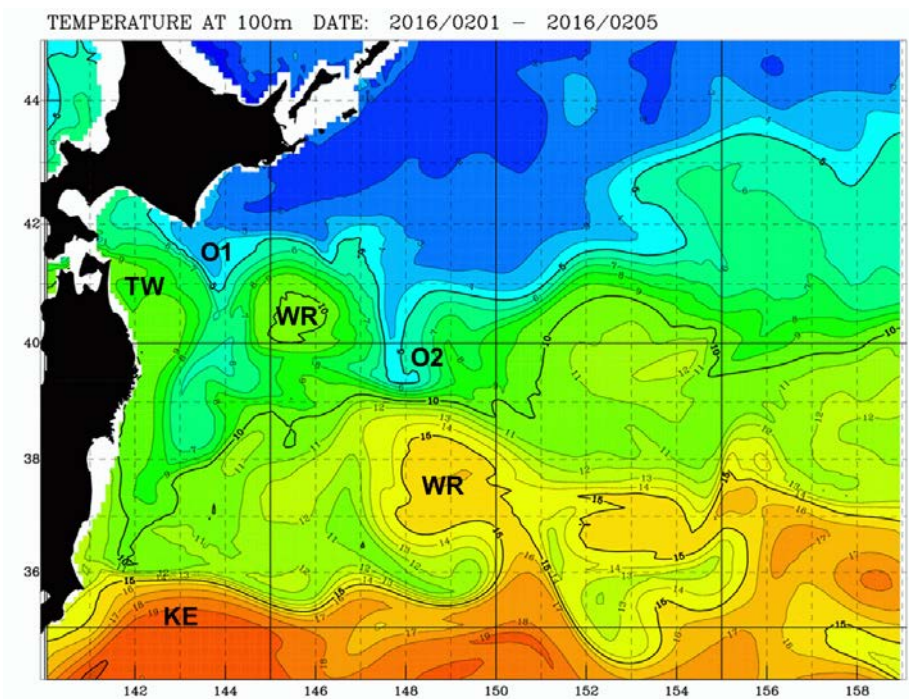
近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏、親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏である。釧路沖と三陸はるか沖に暖水塊がある。

（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSによる結果を用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

3月上旬予測水温分布図



2月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所
岩手県水産技術センター	(取りまとめ機関)
宮城県水産技術総合センター	国立研究開発法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所
福島県水産試験場	
茨城県水産試験場	